



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第2023号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島
TEL(055)984-0120
会長 鈴木 郁夫 幹事 前田 房江



広重版画より 三島 朝霧

第2086回例会

2015.9.10晴

司 会

平出利之君

ロータリーソング

「我等の生業」
指揮 古川喜仁君

会長挨拶

会長 鈴木郁夫君

台風18号も日本海に抜けこの辺はひと段落付きましたが、栃木では大雨により鬼怒川が決壊して集落が孤立して大きな被害が出ているようです。9月は梅雨時を超えて一年で一番雨が多い季節だとのことですので、これからも油断ができません。

私の会長方針の中で、失敗したときや困った時も温かく見守りながら「恕の精神」、「寛容の精神」によって会員の皆様にも何ども助けられた実感がある、ということをお話しましたが、このことについて少し説明したいと思います。

恕という言葉は、孔子の弟子の子貢が、「ただひとことで、一生行ってゆくに値する言葉がありますか」と尋ねた時に、孔子は「其れ恕か。己の欲せざるところは、人に施すこと勿れ」と答えたという論語から由来する言葉です。また辞書によると、恕とはおもいやり、ゆるすこととあります。「他人のことを思いやる優しい心」「他人を思いやり、相手の身になりなさい」という意味もあるようです。これと似たような言葉に、「己の欲するところを人に施せ」があります。これは聖書マタイ伝から由来し「あなたが人にしてもらいたいことは、何でも人にもしてあげなさい」という意味で黄金律と呼ばれています。この2つは同じようですが、そうではありません。

2780地区の山本パストガバナーは「寛容の精神こそロータリー存続の基本」という文章の中で「あなたが人にして貰いたいと思うことは、何でもしてあげなさい。」という黄金律は西洋流の積極的な行動哲学が感じられ、「己の欲せざるところは、人に施すこと勿れ」という言葉には東洋流の消極的さが感じられる。と述べています。

またポールハリスの文章の中に、「Tolerance」という言葉が出てきますが、日本のロータリアンは「寛容」と訳しているが、「Tolerance」は西洋流の黄金律の意味で積極的な行動哲学を意味しているが、「寛容」を日本人は「恕」という意味に解釈

して、東西のこの発想の違いによりそれぞれの行動に差が出てくる。時代の変化とともに積極的にロータリーの在り方を変えていくRIのあり方に、伝統的な精神構造を重んじる日本をはじめとする東洋のロータリアンが「このままでいい」と違和感を感じるのも、この感じ方の違いによるものではないか。ともお話になっています。

「上杉鷹山(ようざん)」などを書いた作家の童門冬二さんは「商人の原点」という文章の中で「日本社会の基盤となる共通のコンセンサスとして恕の精神を提言したい。日本人はもともと自分の中にそれを持っている。だからまずは一人一人が、それを自分で掘り起こすところから始めるべきだと思います。」ともお話になっています。

現在でも感じられることですが、先輩の皆様がはぐくんでくれた、「恕の精神」、「寛容の精神」を、言うは易し行ふは難し、自分にとっては非常に難しいことですが、少しでも受け継いでいければと思っています。

見晴フェスティバルのご案内

社会奉仕委員会

10/17(土) 前日準備 13:30～ 北上文化プラザ

※豚汁の下準備を行います。

御協力いただける奥様募集いたします。

10/18(日) 見晴フェスティバル 10:00点鐘

※駐車場は富士見食堂をご利用ください。

当日早く帰られる方は、駐車する際案内係へ一言お願いします。

出席報告

	出席総数	出席率	メ ー ク ッ プ	修 出 席 正 率
前々回	27/41	65.85%	31/41	75.61%
今回	40/45	88.89%	会員総数	49名

欠席者 石井(彰)君、鈴木(正)君、諏訪部(照)君、登崎君、藤江君

2015～2016年度
国際ロータリー会長
K.R.ラビンドラン

世界へのプレゼントになろう

おめでとう

会員誕生日 橋本君
入会記念日 矢岸君

卓 話

三島西RCの特色

遠藤正幸君

当クラブは、今年で44周年を迎えます。その間歴代会長は、初代大場会長の目指した「みんなが参加できるクラブ活動の推進や、派閥のない素朴でユーモアのある楽しい例会運営」を育ててきました。これからもこの気持ちを大切に新たに入会していただいた方にも三島西RCでよかったといえる会にさせていただきたいと思ひます。

私は、1986年に入会し29年目に入りました。入会当初は、なかなかじめないことも多々ありましたが、20・25・30・40周年、といろいろな式典やイベントに参加させていただき、女房共々三島西RCのよさを実感しております。

クラブの特色としては、台湾との交流があると思ひます。姉妹クラブを締結してからすでに34年が経過しました。昭和62年から始めた中学生の交換事業や、公式訪問での熱烈歓迎は、当クラブが一つにまとまるということでも有意義な事業だと思ひます。

また、関本年度で実施した夏祭りパレードへの参加もあります。「地域社会の行事や、市民活動に積極的に参加して、住民とのふれあいの中で地域のニーズを引き出し奉仕活動に結び付けて行く」という方針で、会員一丸となって実施しました。当日の参加は、炎天下の中、会員家族が90名、姉妹クラブが31名、交換中学生OBが12名、他クラブが15名と約150名の参加でした。

親睦一座もあります。クリスマス家族会を手作りでやろうということで始めたことだったと思ひますが、新会員に積極的に参加していただいたり、こんな才能があったのかという新しい発見や出会いがあったりと、これからも新しい方にどんどん参加していただきたいと思ひます。親睦一座には、女性会員の活躍も忘れてはならないと思ひます。

ミセス会もあります。いろいろなイベントで協力していただくだけでなく、同好会を通じて奥様同士の交流が実を結んでおります。ゴルフ同好会もあります。新会員が、同好会に参加して1回で溶け込んでしまった方もいるようです。

三島西RCは、いろいろな事業に全員が気持ちを一つにして実施できることそれが一番の特色です。これからも、初代大場会長の気持ちを一人一人が大切に、先輩も後輩もお互いに「恕」の気持ちで楽しいクラブを目指してほしいと思ひます。



スマイルボックス

- ◆ 梶山君、8月7日Fテーブル会を行いました。楽しい夜でした。川名様、ご苦労様でした。8月28日の熱海花火大会には、孫2名連れていきました。大変お世話になりました。前田様、遠藤様、種々大変で申し訳ありませんでした。
- ◆ 伊丹君、今日は少し良い事があったのでスマイルします。沼津大手メーカーと賄い業務契約が成立致しました。ありがとうございます。又、本日配布のガバナー月信の13頁に当社松韻の記事が掲載されました。ありがとうございます。そして今週の日曜日13日の当社ゴルフコンペ13組で1名欠員出ましたが、どなたか参加下さいますか。お待ちしております。
- ◆ 西本君、関本(文)さん、ゴルフの写真をありがとうございます。
- ◆ 諏訪部(敏)君、まだ生きています。忘れないで下さい。
- ◆ 宇田川君、花火大会ご参加の皆様、全員無事で帰ってこれたこと、大変うれしく思っています。たくさんのご協力ありがとうございます。
- ◆ 前田(房)君・鈴木(郁)君、関本文彦さん、写真ありがとうございます。
- ◆ ゴルフ同好会、鈴木年度、第1回ゴルフコンペを9月6日(日)に新沼津カントリークラブで開催しました。優勝平出さん・準優勝角さん・3位関本さんでした。次回は、10月4日(日)に大仁カントリークラブで開催します。
- ◆ 森崎君、早退いたします。

(週報担当:遠藤武子)